

入札説明書及び設計図書等に対する質問回答書

工事名：PC桁等大規模修繕その他工事（2023-1-松）			問合せ日：2023年5月10日
			回答日：2023年5月18日
記載箇所	質問	回答	
1. 全般	1. 本工事に適用される労務単価は令和4年度単価と令和5年度単価のどちらでしょうか。	1. 令和5年度単価を考えております。	
2. 全般	2. 本工事に適用される積算基準は2022年7月1日版でしょうか。	2. ご質問のとおりです。	
3. 全般	3. 材料単価等の適用年月日は、入札時の2023年6月でしょうか。	3. ご質問のとおりです。	
4. 全般	4. 本工事において、「現場環境改善費」は、計上されていると考えてよろしいでしょうか。	4. 金抜設計書3頁のとおり、現場環境改善費(率)を計上しております。	
5. 全般	5. 一般管理費等の算出において、契約保証に係る補正（0.04％）は、考慮されていますでしょうか。	5. 考慮しております。	
6. 設計書 内訳書-1 設計書 内訳書-2 設計書 内訳書-3	6. 工場製作工に含まれる労務単価には、週休2日の補正が行われないと考えてよろしいでしょうか。	6. ご質問のとおりです。	

記載箇所	質問	回 答
7. 設計書 内訳書-1 設計書 内訳書-3	7. 鋼材の材料には「寸法エキストラ」は含まないと考えてよろしいでしょうか。	7. ご質問のとおり寸法エキストラは含まれません。
8. 設計書 内訳書-1 設計書 内訳書-3	8. 鋼板及び製作加工(各種)において「スクラップ」は計上されていますか。 計上されている場合、工場管理費、一般管理費の対象となりますでしょうか。	8. スクラップを考慮しております。また、スクラップについては工場管理費は対象外で、一般管理費のみ対象となります。
9. 設計書 内訳書-2	9. 工場製作工に含まれる「工場塗装に係る材料費」は、工場管理費、一般管理費の対象となりますでしょうか。	9. 土木工事標準積算基準_第1編_第2章_③間接工事費_2-22頁及び第2編_第7章_④鋼材の表面処理及び工場における塗装_7-18頁のとおりです。
10. 設計書 内訳書-2	10. 内面塗装仕様 長ばく形エッチングプライマー(R-5)については原板プラストとエッチングプライマーのみ計上されていると考えてよろしいですか。	10. ご質問のとおりです。
11. 設計書 内訳書-3	11. 製作費について運搬費が計上されていますが運搬費については諸経費を算出する際に間接労務費、工場管理費、一般管理費等の対象と考えてよろしいですか。	11. 工場管理費の対象外で、一般管理費については対象と考えております。
12. 設計書 内訳書-3	12. 製作費について工場塗装費が計上されていますが塗装仕様及び面積をご教示お願いします。	12. 工場塗装規格については「A-7仕様」を考慮しております。 また、他機関の単価を参考にし、製作費に「工場塗装」と「溶融亜鉛メッキ」を含んだ合成単価として単価設定を行っています。
13. 設計書 内訳書-3	13. 製作費について計上されている製作工は1 t 当りの製作工数をご教示願います。	13. 他機関の単価を参考に単価設定を行っております。 なお、他機関の単価については公表いたしません。
14. 設計書 内訳書-3	14. 製作費について計上されている副資材は、①製作重量と同数、②製作重量の半分のどちらかをご教示願います。	14. 他機関の単価を参考に単価設定を行っております。 なお、他機関の単価については公表いたしません。

記載箇所	質問	回 答
15. 設計書 内訳書-4	15. 輸送については別途、人力積込み・取卸しを計上されていますか。	15. 輸送工については、別途人力による取卸し費の計上を考慮しております。
16. 設計書 内訳書-3	16. 鋼板（ブラケット）SM400A t=3～25mmに採用されている鋼板は「厚板」と考えてよろしいでしょうか。その他の単価を採用されている場合、もしくはその他単価と混在している場合、規格と数量をご教示下さい。	16. 厚板のベース価格に規格エキストラを加算して算出しております。
17. 設計書 内訳書-3	17. 製作加工（調整プレート）について、「厚みエキストラ」を採用されていますでしょうか。採用されている場合、鋼板の幅は「 $1,000 \leq W < 1,200$ 」でよろしいでしょうか。	17. 「厚みエキストラ」を採用しております。 また、鋼板の幅は $W=1,500$ と考慮しております。
18. 設計書 内訳書-3	18. 支承補強装置製作工に計上されている、アンカーボルト、連結ボルト、ナット、ワッシャー、ばね座金は、工場管理費の対象と考えてよろしいでしょうか。	18. ご質問の支承補強装置製作工に計上されているアンカーボルト、連結ボルト、ナット、ワッシャー、ばね座金は、工場管理費の対象外です。
19. 設計書 内訳書-5	19. 吊り金具コンクリートアンカー（足場用）について、ヒンジ付吊り金具の材料費は内訳書-20に含まれていることから本項目については計上されていないと考えてよろしいですか。	19. 内訳書-5では、吊り金具コンクリートアンカーを計上しております。
20. 設計書 内訳書-5	20. 不陸整正費に計上されているサンドペーパーの規格についてご教示下さい。	20. 不陸整正における要領について、「阪神高速道路株式会社道路構造物の補修要領平成30年7月_第2編_第4章_4.4施工および管理 P2-2-34」をご参照ください。規格については貴社にてお考えください。
21. 設計書 内訳書-5	21. 不陸整正にはマーキング作業も含まれていると考えてよろしいですか。	21. ご質問のとおりです。
22. 設計書 内訳書-5	22. 鋼板接着にて使用するコンクリートアンカー（M12×100）の防食仕様は電気亜鉛メッキもしくは溶融メッキのどちらを想定され計上されていますか。	22. 電気亜鉛メッキを考慮しております。

記載箇所	質問	回 答
23. 設計書 内訳書-7	23. アンカー削孔、鉄筋、中空鋼棒、解放、型枠、切り欠き型枠、偏向装置、外ケーブル緊張、外ケーブル組立に採用されている歩掛は、「橋梁架設工事の積算（令和4年度）」P4-132に記載の外ケーブル補強工（コンクリート桁）の各歩掛として計上されていますか。	23. ご質問のとおりです。
24. 設計書 内訳書-7	24. 解放については1箇所、1ユニットとして計上されていると考えてよろしいですか。	24. ご質問のとおりです。
25. 設計書 内訳書-7	25. エポキシ樹脂充填0.8m3はどの作業を指しているでしょうか。ご教示下さい。	25. 設計図84頁に示す通り、主桁削孔部と中空PC鋼棒との間を充填する作業です。
26. 設計書 内訳書-7	26. 清掃（定着突起接触面）に採用されている歩掛は、「橋梁架設工事の積算（令和4年度）」P4-134に記載のブラスト工として計上されていますか。	26. 土木工事標準積算基準_第4編_第2章_⑤表面保護（参考）_1-1-1清掃工の歩掛を使用しております。
27. 設計書 内訳書-7	27. PC鋼棒（中空鋼棒）が各種計上されていますが材料費のみ計上されていると考えてよろしいですか。	27. ご質問のとおりです。
28. 設計書 内訳書-7	28. スパイラル補強筋が計上されていますが材料費のみ計上されていると考えてよろしいですか。	28. ご質問のとおりです。
29. 設計書 内訳書-7	29. 定着具筋が計上されていますが材料費のみ計上されていると考えてよろしいですか。	29. ご質問のとおりです。

記載箇所	質問	回 答
30. 設計書 内訳書-7	30. 切り欠き部型枠については設置撤去に係わる手間代は計上されていますか。	30. ご質問のとおり、施工費も計上しております。
31. 設計書 内訳書-7	31. 無収縮モルタル ($\sigma_{ck}=40\text{N/mm}^2$) に採用されている歩掛は、「橋梁架設工事の積算（令和4年度）」P4-135に記載のコンクリート工（コンクリートポンプ車打設）として計上されていますか。	31. ご質問のとおりです。
32. 設計書 内訳書-7	32. 無収縮モルタルにて使用する、無収縮モルタル材料の規格（水和熱抑制型、早強タイプ等）及び標準混和量（ 1875kg/m^3 等）をご教示願います。	32. 貴社にてお考え下さい。
33. 設計書 内訳書-7	33. 清掃（偏向装置接触面）に採用されている歩掛は、「橋梁架設工事の積算（令和4年度）」P4-134に記載のブラスト工として計上されていますか。	33. 土木工事標準積算基準 第4編 第2章 ⑤表面保護（参考）_1-1-1清掃工の歩掛を使用しております。
34. 設計書 内訳書-7	34. 無収縮モルタル ($\sigma_{ck}=40\text{N/mm}^2$ $t=10\text{mm}$) に採用されている歩掛は、「橋梁架設工事の積算（令和4年度）」P4-135に記載のコンクリート工（コンクリートポンプ車打設）として計上されていますか。	34. 土木工事標準積算基準 第2編 第16章 ⑥PU排水溝_⑧無収縮モルタル_1-2の歩掛を使用しております。
35. 設計書 内訳書-7	35. シーリングについて1m当りの材料使用重量をご教示願います。	35. シーリングの使用量について、1m当り0.437kgを考えております。
36. 設計書 内訳書-7	36. シーリング、偏向具、偏向具取付ボルト、スライドプレート、SUSバンド、外ケーブルについては材料費のみ計上されていると考えてよろしいですか。	36. ご質問のとおりです。
37. 設計書 内訳書-7	37. 外ケーブル緊張__片引きの摘要に記載されている定着金具取付費とは定着プレートの取付費用でしょうか。	37. 緊張作業に係る労務費を計上しております。別紙のとおり金抜設計書を差し替えさせていただきます。

記載箇所	質問	回 答
38. 設計書 内訳書-10	38. 外観変状詳細調査及び鉄筋破断調査についてはその他原価及び一般管理費等を含むと記載されていますが、諸経費を算出する際には共通仮設費、現場管理費、一般管理費等の対象外として計上されていますか。	38. ご質問のとおりです。
39. 設計書 内訳書-10	39. 外観変状詳細調査及び鉄筋破断調査についてはその他原価及び一般管理費等を含むと記載されていますが、その他原価に使用する α 及び一般管理費等に使用する β については35%と考えてよろしいですか。	39. ご質問のとおりです。
40. 設計書 内訳書-10	40. コア採取及び無収縮モルタル、コンクリート物性調査については諸経費を算出する際には共通仮設費、現場管理費、一般管理費等の対象として計上されていますか。	40. コア採取及び無収縮モルタルについては全経費対象と考えております。コンクリート物性調査については、全経費対象外と考えております。
41. 設計書 内訳書-10	41. 鉄筋破断調査についてはどのような歩掛かり（作業班の労務・機械編成）にて計上されていますか。	41. 鉄筋破断調査については、別紙のとおり、特記仕様書を差し替えさせていただきます。
42. 設計書 内訳書-10	42. 無収縮モルタルについては材料費のみもしくは練混費含むのどちらにて計上されていますか。	42. 練混費を含んでおります。
43. 設計書 内訳書-10	43. 調査工（ASR橋脚補修工）に計上されている項目についても全て週休2日の補正が行われていると考えてよろしいでしょうか。	43. ご質問のとおりです。
44. 設計書 内訳書-11	44. 外観変状詳細調査については、その他原価及び一般管理費等を含むと記載されていますが、諸経費を算出する際には共通仮設費、現場管理費、一般管理費等の対象外として計上されていますか。	44. ご質問のとおりです。
45. 設計書 内訳書-11	45. 外観変状詳細調査については、その他原価及び一般管理費等を含むと記載されていますが、その他原価に使用する α 及び一般管理費等に使用する β については35%と考えてよろしいですか。	45. ご質問のとおりです。

記載箇所	質問	回 答
46. 設計書 内訳書-11	46. 調査工（コンクリート構造物補修工（上部））に計上されている項目についても全て週休2日の補正が行われていると考えてよろしいでしょうか。	46. ご質問のとおりです。
47. 設計書 内訳書-12、16 特記仕様書3-8-7	47. 亜硝酸リチウム内部圧入における表面シールにて使用するポリマーセメントモルタル(特記仕様書記載のアロンカチオクリートF-1同等品)の標準使用量が記載されていません。ご教示をお願いします。	47. 5.5kg/m2と考えております。
48. 設計書 内訳書-12、16	48. 亜硝酸リチウム内部圧入において行う鉄筋探査は技術管理費に計上されてると考え、内訳書-12、16の亜硝酸リチウム内部圧入には計上されていないと考えてよろしいですか。	48. ご質問のとおりです。
49. 設計書 内訳書-16 特記仕様書3-8-5	49. 亜硝酸リチウム内部圧入において行う鉄筋探査について、探査箇所が特記仕様書にて橋脚梁側面と記載されていますが松S-206分の記載がありません。記載漏れと考えてよろしいですか。	49. 別紙のとおり、特記仕様書を差し替えさせていただきます。
50. 設計書 内訳書-12	50. 亜硝酸リチウム内部圧入において行う本加圧注入については、1橋脚の数量が少ないことから少数を考慮した歩掛かりにて計上されていますか。	50. ご質問のとおりです。
51. 設計書 内訳書-12、16 数量総括表 73、125	51. 亜硝酸リチウム40%溶液の数量が記載されていますが、記載されている数量はロスを考慮された数量もしくは、ロスを考慮されていない数量のどちらにて記載されていますか。	51. ロスを考慮していない数量を記載しております。
52. 設計書 内訳書-12 数量総括表 73 特記仕様書3-8-4	52. 亜硝酸リチウム内部圧入における本加圧注入について、日数が記載されていますが、何班施工を想定されての日数となりますか。	52. 1班を想定しております。
53. 設計書 内訳書-12、16 数量総括表 73、124、125 特記仕様書3-8-4	53. 亜硝酸リチウム内部圧入における本加圧注入について、日数が記載されていますが、松P206～P207については松S-206の日数も含まれていますか。含まれていない場合、松S-206の日数をご教示をお願いします。	53. 松S-206の日数は含まれていないため、別紙のとおり、特記仕様書を差し替えさせていただきます。

記載箇所	質問	回 答
54. 設計書 内訳書-12、16 数量総括表 73、124、125 特記仕様書3-8-3	54. 亜硝酸リチウム内部圧入を施工する構造物の圧縮強度が特記仕様書に記載されていますが、松S-206の記載がありません。松P206～P207と同じと考えてよろしいですか。異なる場合は、松S-206の圧縮強度をご教示お願いします。	54. 別紙のとおり、特記仕様書を差し替えさせていただきます。
55. 設計書 内訳書-14	55. 橋脚梁拡幅工に計上されているコンクリート材料について夜間割増及び夜間プラント使用料は計上されていますでしょうか。計上されている場合、設定単価をご教示ください。計上されていない場合、設計変更の対象でしょうか。	55. 夜間割増及び夜間プラント使用料は計上しております。設定単価については、「大阪広域生コンクリート協同組合の生コンクリート価格表」を参照しております。
56. 設計書 内訳書-15	56. 水平力分担構造設置費には、水平力分担構造及び下部工ブラケットの設置費が計上されていると考えてよろしいでしょうか。	56. 水平力分担構造の設置費のみ計上しております。
57. 設計書 内訳書-15	57. 水平力分担構造設置費に採用されている各歩掛については、「橋梁架設工事の積算(令和4年度)」P4-68 部材取付工(落橋防止装置取付工)①タイプ及び⑦タイプを積算根拠とされていると考えてよろしいでしょうか。	57. 「橋梁架設工事の積算(令和4年度)」P4-68 部材取付工(落橋防止装置取付工)タイプ⑦を考えております。
58. 設計書 内訳書-15	58. PCT桁ブラケット取付費に採用されている歩掛は、「橋梁架設工事の積算(令和4年度)」P4-68 部材取付工(落橋防止装置取付工)③タイプを積算根拠とされていると考えてよろしいでしょうか。	58. 「橋梁架設工事の積算(令和4年度)」P4-68 部材取付工(落橋防止装置取付工)タイプ①を考えております。
59. 設計書 内訳書-15	59. 水平力分担構造、エポキシ樹脂(各種)については、材料費のみ計上されていると考えてよろしいですか。	59. ご質問のとおりです。
60. 設計書 内訳書-15	60. エポキシ樹脂__アンカーボルト部(貫通部)及びエポキシ樹脂__アンカーボルト部に計上されている材料について、比重をご教示下さい。また、0.1m3の数量にロスが含まれていると考えてよろしいでしょうか。	60. ご質問の材料について、比重は1.4と考えております。また、数量にロスは含んでおりません。

記載箇所	質問	回 答
61. 設計書 内訳書-15	61. PCT桁フック取付__夜間について、取付以外の作業については昼間作業と考えてよろしいでしょうか。	61. ご質問のとおりです。
62. 設計書 内訳書-20	62. 吊り足場（橋梁補修）については全てシート張り防護と考えてよろしいですか。	62. 特記仕様書4-2-4のとおりです。
63. 設計書 内訳書-20	63. 吊り足場（橋梁補修）設置・撤去の夜間施工について、各種防護工も夜間施工と考えてよろしいでしょうか。 また、床面シート張防護は、「橋梁架設工事の積算（令和4年度）」P4-12補修用足場工の床面シート張防護にて計上されていると考えてよろしいでしょうか。	63. 各種防護工は夜間施工と考えております。床面シート張防護は、「橋梁架設工事の積算（令和4年度）」4.2.2PC橋補修用足場工」P4-22での計上を考えております。
64. 設計書 内訳書-20	64. 橋脚回り足場（ASR橋脚補修）設置・撤去について、側面形状は「手摺」もしくは「朝顔」どちらを想定されていますでしょうか。	64. 側面形状は朝顔を考えております。
65. 設計書 内訳書-20	65. 橋脚回り足場（上部耐震）設置・撤去について、側面形状は「手摺」もしくは「朝顔」どちらを想定されていますでしょうか。	65. 側面形状は朝顔を考えております。
66. 設計書 内訳書-20	66. 高所作業車の各項目に計上されている車輛規格はバケット・ブーム型又は幅広デッキ・ブーム型のどちらを想定されて計上されていますか。 各機種毎にご教示願います。	66. 高所作業車の規格については、貴社にてお考え下さい。

記載箇所	質問	回 答
67. 設計書 内訳書-20	67. 高所作業車の各項目に計上されている高所作業車は長期割引有りの賃料と考えてよろしいですか。	67. ご質問のとおりです。
68. 設計書内訳書-20	68. ヒンジ付吊り金具（仮設）―夜間にヒンジ付吊り金具の材料費が含まれていると考えてよろしいでしょうか。	68. ご質問のとおりです。
69. 設計書 内訳書-22	69. 鉄筋探査 各種に採用されている歩掛は、「橋梁架設工事の積算（令和4年度）」P4-66に記載の鉄筋探査工として計上されていますか。	69. 本社設定単価で計上しております。
70. 設計書 内訳書-22	70. 鉄筋探査について、歩掛に設計業務委託等技術者単価が含まれる場合、週休2日の補正は行われていますでしょうか。	70. 週休2日補正は行っておりません。
71. 設計書 内訳書-22	71. 調査計測について、歩掛に設計業務委託等技術者単価が含まれる場合、週休2日の補正は行われていますでしょうか。 また、公共工事設計労務単価については週休2日の補正は行われていますでしょうか。	71. 設計業務委託等技術者単価、公共工事設計労務単価ともに週休2日補正を行っております。
72. 設計書 内訳書-22	72. 調査計測に採用されている歩掛は、「橋梁架設工事の積算（令和4年度）」P4-133に記載の近接調査計測工として計上されていますか。	72. ご質問のとおりです。
73. 設計書 内訳書-22	73. 近接調査計測 各種について、歩掛に設計業務委託等技術者単価が含まれる場合、週休2日の補正は行われていますでしょうか。 また、公共工事設計労務単価については週休2日の補正は行われていますでしょうか。	73. 設計業務委託等技術者単価、公共工事設計労務単価ともに週休2日補正を行っております。

記載箇所	質問	回 答
74. 設計書 内訳書-22	74. 近接調査計測 各種に採用されている歩掛は、「橋梁架設工事の積算(令和4年度)」P4-66に記載の近接調査計測工として計上されていますか。また、該当箇所に記載のタイプを各項目毎にご教示願います。	74. 「橋梁架設工事の積算(令和4年度)」P4-66に記載の近接調査計測工の歩掛を考慮しております。橋脚梁拡幅については、タイプ①、水平力分担構造については、タイプ⑦を考慮しております。
75. 設計書 内訳書-22	75. アンカーボルト定着長測定の積算根拠についてご教示下さい。	75. 本社設定単価で計上しております。
76. 設計書 内訳書-22	76. 技術管理費 各種について、現場管理費及び一般管理費の対象外となる項目がありましたらご教示下さい。	76. アンカーボルト定着長測定については、一般管理費のみ対象と考慮しております。
77. 全般	77. 直接工事費に含まれるスクラップ費の控除は、共通仮設費、現場管理費、一般管理費等の全てに対し控除すると考えてよろしいですか。	77. ご質問のとおり、全経費対象外です。
78. 特記仕様書4-3-3	78. ※参考：延べ員数が各種記載頂いていますが、上段に記載の日数と整合が取れないように思われます。員数についてご確認いただけますでしょうか。	78. 特記仕様書4-3-3に示すとおり、共通仮設費(率)に含まれる分を控除し算出しております。
79. 別表-2	79. 監理技術者(専任・交代緩和施策)を活用した場合の配置予定技術者の専任期間である「工事目的物施工開始から工事目的物施工完了まで」とは、当工事の場合、橋梁足場等設備工(設置・撤去)を除く支障物撤去工から支障物設置工までと考えてよろしいでしょうか。 以上	79. 配置予定技術者の専任期間は、特記仕様書 別表-1 参考工程表に示す「橋梁補修工(PC桁補修、上部耐震)」のうち、「橋梁足場等設備工(撤去)」及び「支障物復旧」を除く期間です。 以上

2023年5月18日

阪神高速道路株式会社

入札公告の修正について

2023年2月14日付けで入札公告したPC桁等大規模修繕その他工事（2023-1-松）について、金額を記載しない設計書(1)及び金額を記載しない設計書(3)の記載に齟齬がありましたので別紙-3のとおり修正いたします。

以 上

別紙- 3

金額を記載しない設計書 (1)
正誤表

正 誤 表

誤

正

内訳書-1

細 別	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
外ケーシング	F20TS SWP87BL 1×φ15.2 L=16.978	本	8			外ケーシング材料費を含む
外ケーシング	F20TS SWP87BL 1×φ15.2 L=17.268	本	22			外ケーシング材料費を含む
外ケーシング	F20TS SWP87BL 1×φ15.2 L=17.418	本	36			外ケーシング材料費を含む
外ケーシング	F20TS SWP87BL 1×φ15.2 L=18.028	本	4			外ケーシング材料費を含む
外ケーシング	F20TS SWP87BL 1×φ15.2 L=18.478	本	18			外ケーシング材料費を含む
外ケーシング	F20TS SWP87BL 1×φ15.2 L=20.798	本	4			外ケーシング材料費を含む
外ケーシング	F20TS SWP87BL 1×φ15.2 L=21.298	本	72			外ケーシング材料費を含む
外ケーシング	F20TS SWP87BL 1×φ15.2 L=21.748	本	144			外ケーシング材料費を含む
外ケーシング	F20TS SWP87BL 1×φ15.2 L=22.198	本	4			外ケーシング材料費を含む
外ケーシング	F20TS SWP87BL 1×φ15.2 L=25.278	本	16			外ケーシング材料費を含む
外ケーシング緊張	片引き	ケーシング	416			定着金具取付費、外ケーシング緊張費を含む
外ケーシング組立	F20TS	m	8,114.2			外ケーシング組立費を含む

内訳書-1

細 別	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
外ケーシング	F20TS SWP87BL 1×φ15.2 L=16.978	本	8			外ケーシング材料費を含む
外ケーシング	F20TS SWP87BL 1×φ15.2 L=17.268	本	22			外ケーシング材料費を含む
外ケーシング	F20TS SWP87BL 1×φ15.2 L=17.418	本	36			外ケーシング材料費を含む
外ケーシング	F20TS SWP87BL 1×φ15.2 L=18.028	本	4			外ケーシング材料費を含む
外ケーシング	F20TS SWP87BL 1×φ15.2 L=18.478	本	18			外ケーシング材料費を含む
外ケーシング	F20TS SWP87BL 1×φ15.2 L=20.798	本	4			外ケーシング材料費を含む
外ケーシング	F20TS SWP87BL 1×φ15.2 L=21.298	本	72			外ケーシング材料費を含む
外ケーシング	F20TS SWP87BL 1×φ15.2 L=21.748	本	144			外ケーシング材料費を含む
外ケーシング	F20TS SWP87BL 1×φ15.2 L=22.198	本	4			外ケーシング材料費を含む
外ケーシング	F20TS SWP87BL 1×φ15.2 L=25.278	本	16			外ケーシング材料費を含む
外ケーシング緊張	片引き	ケーシング	416			外ケーシング緊張費を含む
外ケーシング組立	F20TS	m	8,114.2			外ケーシング組立費を含む

金額を記載しない設計書 (3)

正誤表

正 誤 表

誤

・ $20\text{N/mm}^2 \leq \sigma_c < 30\text{N/mm}^2$ (松 P-206、松 P-207、松 P-328)

3-8-4 亜硝酸リチウム内部圧入工における本加圧注入に要する日数は以下を考えている。

松 P-206～松 P-207 : 3 1 日程度 (8 時間/日)
松 P-328 : 2 4 日程度 (8 時間/日)

3-8-5 削孔にあたっては、既設構造物の鉄筋等に損傷を与えないよう十分注意しなければならない。削孔位置は設計削孔位置の半径 10cm 以内とし、削孔数は設計削孔数以上とする。削孔長については設計削孔長の $-30\text{mm} \sim +50\text{mm}$ 以内とし、孔内に支障物がないよう十分に清掃をおこなうものとする。削孔位置、削孔長が変更となった場合は、配置計画を見直す必要があるので、監督員に報告すること。削孔位置の確認方法については RC レーダーとし、探査箇所は以下のとおりを考えている。

1) ASR 橋脚補修工
亜硝酸リチウム内部圧入工部の橋脚梁側面

また削孔後、既設鉄筋やコンクリートに損傷を与えていないことを確認し、確認結果を監督員に報告すること。
なお、削孔位置の変更、削孔長の変更等により、設計図面及び設計計算の修正費用が必要となった場合は、別途協議する。

3-8-6 削孔費について、不達孔に関する費用については設計変更する。

3-8-7 亜硝酸リチウム内部圧入工の表面シールに用いるポリマーセメントモルタルは圧入する亜硝酸リチウム溶液の漏出を防ぐことができる材料とし、アロンカチオクリート F-1 同等品とする。

3-8-8 亜硝酸リチウム内部圧入孔の充填に用いる高性能無収縮モルタルは、 $\phi 20\text{mm}$ の小径孔に充填、高流動性のあるプレユーロックス FS 同等品とし、試験練りを行い監督員の承諾を得ること。
施工にあたっては、事前に監督員と施工方法及び品質管理等について十分な打ち合わせを行うこと。

3-8-9 亜硝酸リチウム内部圧入工の本加圧注入工では試験加圧注入結果を基に策定した本加圧注入計画に基づき、以下の圧入状況を管理し、監督員に報告すること。

- 1) 圧入速度
- 2) 注入圧力
- 3) 躯体表面からの漏出の有無
- 4) 圧入量
- 5) 圧入時間

3-8-10 監督員の指示により下記を追加する場合がある。

・ 亜硝酸リチウム内部圧入施工後の効果確認試験

正

・ $20\text{N/mm}^2 \leq \sigma_c < 30\text{N/mm}^2$ (松 P-206、松 P-207、松 P-328、~~松 S-206~~)

3-8-4 亜硝酸リチウム内部圧入工における本加圧注入に要する日数は以下を考えている。

松 P-206～松 P-207 : 3 1 日程度 (8 時間/日)
松 P-328 : 2 4 日程度 (8 時間/日)
~~松 S-206 : 6 日程度 (8 時間/日)~~

3-8-5 削孔にあたっては、既設構造物の鉄筋等に損傷を与えないよう十分注意しなければならない。削孔位置は設計削孔位置の半径 10cm 以内とし、削孔数は設計削孔数以上とする。削孔長については設計削孔長の $-30\text{mm} \sim +50\text{mm}$ 以内とし、孔内に支障物がないよう十分に清掃をおこなうものとする。削孔位置、削孔長が変更となった場合は、配置計画を見直す必要があるので、監督員に報告すること。削孔位置の確認方法については RC レーダーとし、探査箇所は以下のとおりを考えている。

1) ASR 橋脚補修工
亜硝酸リチウム内部圧入工部の橋脚梁側面

2) コンクリート構造物補修工 (上部)
・ 亜硝酸リチウム内部圧入工部の床版部
・ 亜硝酸リチウム内部圧入工部の主桁・横桁部

また削孔後、既設鉄筋やコンクリートに損傷を与えていないことを確認し、確認結果を監督員に報告すること。

なお、削孔位置の変更、削孔長の変更等により、設計図面及び設計計算の修正費用が必要となった場合は、別途協議する。

3-8-6 削孔費について、不達孔に関する費用については設計変更する。

3-8-7 亜硝酸リチウム内部圧入工の表面シールに用いるポリマーセメントモルタルは圧入する亜硝酸リチウム溶液の漏出を防ぐことができる材料とし、アロンカチオクリート F-1 同等品とする。

3-8-8 亜硝酸リチウム内部圧入孔の充填に用いる高性能無収縮モルタルは、 $\phi 20\text{mm}$ の小径孔に充填、高流動性のあるプレユーロックス FS 同等品とし、試験練りを行い監督員の承諾を得ること。
施工にあたっては、事前に監督員と施工方法及び品質管理等について十分な打ち合わせを行うこと。

3-8-9 亜硝酸リチウム内部圧入工の本加圧注入工では試験加圧注入結果を基に策定した本加圧注入計画に基づき、以下の圧入状況を管理し、監督員に報告すること。

- 1) 圧入速度
- 2) 注入圧力
- 3) 躯体表面からの漏出の有無
- 4) 圧入量
- 5) 圧入時間

正 誤 表

誤	正
(呈色試験、リチウム定量分析試験、促進膨張試験、部材変形測定) 3-9 支障物撤去復旧工 本工事の施工範囲に存在するケーブルラックについては、防護しての施工を考えているが、監督員がケーブルラックの一時撤去・復旧や移設を指示した場合は設計変更する。 3-10 殻運搬処理 3-10-1 工事に伴い発生するコンクリート殻運搬処理については、本工事施工箇所近傍の再資源化中間処理施設への処分を考えている。なお、必要な処分費は本工事に含まれている。 なお、処分先については監督員の承諾を得ること。 3-10-2 削孔作業に伴い、削孔機械から発生する排水については、排水吸引機能を有する削孔機械等（工業用掃除機やスポンジ等による回収も含む）により回収し、産業廃棄物（汚泥）として適正に処理しなければならない。 3-10-3 上記の処分料金は、会社において毎年調査しており、その結果、処分料金に変更が生じた場合は設計変更する。 3-11 橋脚梁拡幅工 3-11-1 橋脚梁拡幅作業班1班あたりの標準作業量は、削孔15箇所/日、樹脂注入92本/日、鉄筋3.5t/日、型枠38m²/日、コンクリート69m³/日、チャッキング7m²/日を考えているが、施工実態と著しく乖離している場合は、設計変更について別途協議する。	3-8-10 監督員の指示により下記を追加する場合がある。 ・重硝酸リチウム内部圧入施工後の効果確認試験 (呈色試験、リチウム定量分析試験、促進膨張試験、部材変形測定) 3-9 支障物撤去復旧工 本工事の施工範囲に存在するケーブルラックについては、防護しての施工を考えているが、監督員がケーブルラックの一時撤去・復旧や移設を指示した場合は設計変更する。 3-10 殻運搬処理 3-10-1 工事に伴い発生するコンクリート殻運搬処理については、本工事施工箇所近傍の再資源化中間処理施設への処分を考えている。なお、必要な処分費は本工事に含まれている。 なお、処分先については監督員の承諾を得ること。 3-10-2 削孔作業に伴い、削孔機械から発生する排水については、排水吸引機能を有する削孔機械等（工業用掃除機やスポンジ等による回収も含む）により回収し、産業廃棄物（汚泥）として適正に処理しなければならない。 3-10-3 上記の処分料金は、会社において毎年調査しており、その結果、処分料金に変更が生じた場合は設計変更する。 3-11 橋脚梁拡幅工 3-11-1 橋脚梁拡幅作業班1班あたりの標準作業量は、削孔15箇所/日、樹脂注入92本/日、鉄筋3.5t/日、型枠38m²/日、コンクリート69m³/日、チャッキング7m²/日を考えているが、施工実態と著しく乖離している場合は、設計変更について別途協議する。
第4章 仮設工 4-1 仮設工は、本特記仕様書、設計図書に明記したもの及び下記条件以外については、原則として設計変更しない。 1) 工期の変更を行った場合 2) 構造変更を行った場合 3) 管理者協議等により作業時間帯、施工方法が変更になった場合。 4) 管理者協議等により足場及び昇降設備（登り桟橋）の設置が不可能となった場合 4-2 橋梁足場等設備工 4-2-1 本工事は足場を設置した上で調査工（別業務）に着手することを想定しているが、管理者協議等により、足場の設置が著しく遅れる場合は、監督員と協議すること。 4-2-2 橋梁足場等設備について、本工事で使用する吊り足場の平均在場期間は別紙-3のとおりを考えている。在場期間にはPC桁補修調査期間（別業務にて実施）（3ヶ月間）、詳細設計期間（PC桁補修）（3ヶ月間）の他、橋梁補修工及びコンクリート表面保護工（桁部、高欄部）の施工期間を含んでいる。 在場期間については、追加調査及び追加補強設計、追加補強・補修工等の実態	3-12 調査工 3-12-1 鉄筋破断調査については漏洩電流法を考えている。 3-12-2 調査にあたっては、調査作業の内容に応じて、適切な調査用具、記録用具、調査用機材を用意すること。 3-12-3 鉄筋破断調査についての調査班1班あたりの調査量は1橋脚につき1日の調査日数を考えており、作業班1班あたりの実施体制は、技師(B)3名、技術員2名を想定している 3-12-4 本工事で実施する鉄筋破断調査については、その実態を考慮して設計変更する場合がある。